

障がい者農業体験事業及び地産地消に繋げる障がい者自立促進事業について

○障がい者農業体験事業

事業概要	障がい者が実際に土に触れ、播種から収穫までの農業体験をすることにより、農業に対する理解と就労の意欲向上につなげる。 保育園児と障がい施設利用者が共同作業や収穫祭などを通じて交流を深めノーマライゼーションを推進する。
参加施設	・ワークセンターあけぼの ・ワークセンターまめの木 ・ゆうーわ ・ワークセンターときわ
実施状況	○場所：月瀉保育園の畑 ○日時：4月～11月まで週1回、午前中 全24回予定 ○サポート2名による指導のもと、各施設から3名ずつ、計12名が、農作業を行う。じゃがいも掘りや収穫祭を通じ保育園児とも交流。 ○栽培作物 じゃがいも、にんじん、トマト、ピーマン、なす、きゅうり、枝豆、すいか、メロン、玉ねぎ、にんにく、そら豆、おくら、さつまいも、きゃべつ、白菜、大根、ブロッコリーなど ○販売場所等 南区役所1階ロビー 毎週月曜日12時から (7月から11月まで) 1袋100円程度で販売。(売上14,720円 H28.8.8現在)

○地産地消に繋げる障がい者自立促進事業

事業概要	障がい者施設が、地元で収穫された野菜や果物を加工・製品化する取り組みに対し支援を行う。 アグリパークの施設を活用し加工品を試作し、完成後、地元の直売所で販売し、収益を得ることで自立に向けた活動を促す。
参加施設	・ワークセンターまめの木 ・梨の里
実施状況	○加工技術の習得のため、施設職員がアグリパーク内の食品加工支援センターの講座を5月から毎月受講。 ○食品加工支援センターで、トマト、イチゴ、桃の乾燥品を試作 ル レクチエのドレッシングを試作予定